



《ソーシャルディスタンス意識向上タイム》

6月8日（月）の朝の時間に、「ソーシャルディスタンス意識向上タイム」に取り組みました。新型コロナウイルス感染症が感染拡大し、学校も臨時休校となりました。日本を含め全世界で大変な状況となりました。その中で感染拡大防止のために新しい生活様式を心がけなければなりません。校舎内にも新しい生活様式を心がけるべく、図を掲示したり、手洗い場やトイレの前には順番待ちの人の立ち位置も記しています。生徒の皆さんにも廊下や教室での会話中は友達同士の距離をとるようにと、話をしていますが、お互い仲が良いせいか、なかなか離れきれずに密集した状態になっていました。そこで、実際に手を広げてお互いの距離の確認をし、意識できるように取り組みました。ウイルスは目に見えません。潜伏期間もあります。マスクをつけているとはいえ、どのような形で感染するかはわかりません。まずは、自分がかからないように意識して行動すること。それが、周りの家族や友達に感染させないようにすることに繋がり、お互いを大切にすることとなります。仲が良いことは素晴らしいことですが、感染しないようにお互いに気を配った行動を心がけましょう。あわせて、心と身体のリラックスのために、ストレッチ体操も行いました。



＜ソーシャルディスタンス実演＞



＜ストレッチ体操＞

《放課後の消毒作業へボランティア協力！！》



現在、学校では新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、生徒が使用した教室の机や椅子、棚、窓、トイレなどの消毒作業を、放課後生徒が教室を出た後に行っています。これまでは全職員で行うことが出来ましたが、部活動が再開されたので、二つのグループに分けて行動しています。一つのグループは、部活動前の生徒の検温や、感染防止を配慮し、使用するものの消毒などを行うためにすぐに部活動につくようにしています。もう一つのグループは、生徒の下校指導を行った後に、各教室の消毒作業を行っています。作業をする先生が半分になりましたので、消毒作業をする人手が不足することとなりました。そこで、久山町地域学校協働本部へ相談したところ、久山町教育委員会や社会福祉協議会、地域学校協働本部の皆様がボランティアで応援に来ていただいています。

放課後、17時に学校へ来ていただき、特別教室や各教室の消毒を手伝っていただいています。

それぞれお仕事が終わった後、中学校まで駆けつけ作業を行っていただいています。生徒の皆さんが安心して学校生活を送れるようにと、皆さんが知らないところでたくさんの方に関わっていただいています。

本当に感謝いたします。ありがとうございます。